

ご 報 告

本誓寺門徒の会

会長 平野 潤

ご門徒の皆様には、平素から当会の活動に対し、ご理解とご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、「心の拠りどころとなる当たり前のお寺の実現」を目指して活動している当会は、昨年1月に寺田正寛仙台教務所長をお迎えして、総会を開催しました。総会では、本誓寺役員と当会役員の話し合いを仙台教務所（現東北教務所）長立会のもとで、開催することが、住職就任に当たり門徒に約束した事項等課題解決への第1歩と位置づけ、当会の名称を「本誓寺門徒の会」と改め、新たな活動の一步を踏み出しました。

総会開催後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、本来の活動ができないまま、今日に至っておりますが、この間に取組んだことなどについて概略を報告するとともに、今後の活動内容について記します。

1) 当会との話し合いを行うため、住職（坊守、副住職等）と面会

前述した話し合いの場を設けるため、昨年春彼岸からお盆にかけて6回にわたり、自ら寺（庫裏）を訪ね、直接、住職（坊守、副住職）に面会し、早期の話し合いについて協議したところですが、コロナ禍のため、寺の役員会も開けない状況にあるとし、当会との打ち合わせが出来る状況にはないとの回答でした。

コロナ禍が落ち着いてきたこともあり、3月の春彼岸にお寺に出向き、本堂で住職と面会ができたので、そろそろ話し合いの場を設けませんかとお話ししたところ、『当会と話し合いをすることは何もない』と耳を疑う返答でしたので、住職として、やらなければならないこと、門徒に約束した事を実行する義務があるでしょうと声高に話したところ、そばにいた総代さんにお彼岸で門徒さんが拝みに来られているので静まるようとたしなめられ、時を改めて訪ねることとしました。

2) 仙台教区が東北教区に改組、今年1月、東北教務所長と面談

昨年、真宗大谷派（東本願寺）の組織が改められ、仙台教区（仙台教務所）が東北6県を管轄する東北教区（東北教務所）となり、所長に中根慶滋氏が就任しました。当会事務局とメールでやり取りをしていましたが、ようやく面談する機会を得て、今年1月17日、小職と小笠原副会長の2人で仙台に出向き、住職が門徒総会の開催など私たち門徒と約束した事項について、5年も経過した中で実行されていないことなど、お寺が抱えている諸問題について説明し、中根所長の考えを伺い約2時間面談をしました。

その中で、中根所長は、本来、お寺の問題は、寺側と門徒で話し合いをして、解決するのが基本であり、当該問題の解決の難しさを指摘されました。現住職の選任は、元仙台教

務所長清谷真澄氏の指導のもと、実行された経緯がありますので、今後とも東北教務所長、ひいては本山にも働きかけを行う活動を続けて行きたいと考えております。

3) 今後の活動について

○お寺との話し合い

前述のとおり、門徒と約束した事項が未だに実行されていないことから、門徒総会の開催など「当たり前」のお寺になるための諸課題について、早急に話し合いの場を設けるとともに継続して話し合えるよう働きかけを行います。

○お寺の現状のお知らせ、門徒相互の理解

現在のお寺の運営について、詳しい説明がないなど、理解できないことが多すぎると感じていませんか。そのため、現状に満足していない、先行きに不安を抱いているというご門徒が相当数おられると思います。そういう方々に、「当たり前でない」お寺の現状を、わかりやすくお知らせするとともに、当会の活動の内容を知っていただき、賛同を得られるよう働きかけを行います。

○ホームページの活用

働きかけの一つとして、当会の活動に賛同されるご門徒さんを増やしたいと思います。当会では、お寺の抱える諸問題や活動の詳細を知ることが出来るホームページを立ち上げています。「本誓寺門徒の会」<検索>ですぐにヒットします。

その中に、ご意見フォームの項目がありますので、例えば、「こんなことがあったけど、実際はこうではないでしょうか」とか、体験したことなど書き込みをお願いします。

書き込みは、主にお寺に関することになると思いますが、どんなことでも結構です。情報を共有できる場にしたいと思っています。個人情報保護されます。

○「当たり前」のお寺を目指して

繰り返しになりますが、当会は、無理難題を掲げて活動しているわけではありません。ごく、「当たり前」のお寺を目指して活動しています。今のままのお寺では、次世代に安心して引き継ぐことが出来ないと、不安や危機感を抱いている門徒さんもおられると思います。

先日、こんなことを耳にしました。お寺で大きなお葬式があり、多くの参列者が集まっていたとのこと。そこでお葬式が執り行われたわけですが、多くの参列者が違和感を覚え、「これでは、仏様が…」という声がどこからともなく上がったとのこと。よほどのことがあったのだと思います。

4) 活動協力金のお願い

これまでの活動に加え、会員の輪が広がるように働きかけを行いたいと思っています。ロシアのウクライナ侵攻や円安などの影響で、時下、生活費高騰の中、甚だ恐縮ではございますが、当会の活動にご理解をいただき、活動協力金（一口2,000円）のご厚志を賜わりたく何卒宜しくお願い申し上げます。